

古民具骨董市(こみんぐこつとういち)

毎月第一土曜日に天満宮の境内で骨董市が開催されています。平成5年から行われており、毎回約80もの出店があり、東京東郷神社、川越骨董市と並び、関東三大骨董市と言われるようになりました。



古民具骨董市の様子



歴史を活かすまちづくり

あー楽しかった。でも、昔の家って、見るのは楽しいけど、住むのは大変じゃないのかなあ？



そのとおり。桐生市はね、この地区を「人々がそこに住み暮らす町」として、後世に残していきたいと考えているの。だから、ここに住む人たちが、歴史的建造物の価値を残しつつ、楽しく快適に暮らせるよう対策を考え、住民の方や多くの人たちの協力を得ながら取り組んでいるの。



歴史を活かすまちづくり

テーマパークでなく、人が暮らす町として、守り残していく。そのためには、インフラの整備や、建物の貴重な部分を残しながら快適に住むための支援なども重要です。そこで、桐生市では、条例を制定したり、各種計画を策定するなどし、官民一体となった取組を進めています。以下は、文化庁のホームページに掲載されている桐生市の取組です。